

無料

エコプロ2016同時開催セミナー ウォーターフットプリント実践塾

環境経営をサポートする自治体のCSR認証/政策の拡がり

【セミナー概要】～環境配慮のモノサシ「ウォーターフットプリント」の可能性～

さいたま市、横浜市、静岡市等々の自治体で拡がるCSR(事業者が社会に与える影響に責任を持つ経営)認証。この認証の拡がりの背景を探りながら、環境配慮の取組みの拡がりや課題を探っていきます。今回はとりわけ「水」にフォーカスし、ウォーターフットプリントの活用の可能性を提案します。

【主催 ウォーターフットプリント実践塾】

東京都市大学 環境学部 教授

1998年東京大学工学系研究科材料学専攻博士課程修了。2001年～2005年独立行政法人産業技術総合研究所ライフサイクルアセスメント研究センターにおいて環境影響経済評価手法の開発研究を行う。日本の環境条件を反映したライフサイクル影響評価手法LIMEを提案。2005年より武蔵工業大学環境情報学部助教授。2009年より東京都市大学環境情報学部准教授。2013年より東京都市大学環境学部教授。LCAを中心に製品、サービス、イベントの環境負荷分析研究を推進。



ウォーターフットプリント実践塾
塾長 伊坪 徳宏氏

時間帯	講演内容	登壇予定
13時30分～14時00分	環境配慮の「モノサシ」ウォーターフットプリント	ウォーターフットプリント実践塾 塾長 伊坪徳宏氏
14時00分～14時30分	農林水産省/環境省 環境政策の方向性 ウォーターフットプリント課題と可能性	みずほ情報総研 環境エネルギー第2部 内田裕之氏
14時35分～14時50分	紙製飲料容器「カートカン」のウォーターフットプリント	凸版印刷 松井初音氏
14時50分～15時05分	ウォーターフットプリント算定事例と展望	味の素 中村恵治氏
15時05分～15時20分	気候変動に伴う長期的な事業リスクに対応するためのWFの活用	資生堂 大橋憲司氏
15時20分～15時35分	土木構造物の環境負荷算定とマルチクリテリア評価の試行 (河川護岸への間伐材利用)	八千代エンジニアリング 吉原哲氏
15時40分～15時45分	一般用点眼薬の外部包装パウチフィルム化によるCFP及びWF	参天製薬 中村浩史氏
15時50分～15時55分	野菜の農法別WF算定結果と課題	シンプルベジ 久保正英氏
16時00分～16時30分	自治体CSR認証の拡がりや環境配慮の位置付け	CSR経営導入塾 塾長 泉貴嗣氏

【ウォーター・フットプリントとは】

原材料調達から生産、廃棄、リサイクルまでの商品一生分の水使用量を算出し、水資源への負荷を定量化する手法です。

【CSRとは】

事業を行う上で地域や社会に与える種々の影響を考慮し、負荷を経営課題に据えて取り組むことです。

【開催概要】

開催日時 : 2016年12月9日(金) 13時30分～16時30分

開催場所 : 東京ビッグサイト 会議棟1階 101会議室(東京都江東区有明3-11-1)

主催/事務局 : 東京都市大学環境学部伊坪研究室

一般社団法人エコ食品健研究会(ウォーターフットプリント実践塾 事務局)

共催 : 東京都市大学 環境学部 伊坪研究室・エコプロ2016

参加費 : 無料(当日御申込は席に余裕がある場合に受け入れられますが500円の参加費を頂戴します)

参加対象者 : 環境/CSR/商品開発/マーケティング/生産管理等の担当者・NPO/NGO・関心の高い一般消費者

【御申込方法】

下記のお問合せメールアドレスに、参加社名、代表参加者名、参加人数を添えて12月7日までに御申込ください。受付受領メール文面を印刷の上、当日会場受付にてお渡しください。

mail otoiawase@eco-health-food-lab.org 担当者:事務局 一般社団法人エコ食品健研究会 久保宛

☆塾生名簿や塾生のウォーターフットプリント算定事例はホームページにて御覧いただけます。

ウォーターフットプリント実践塾

検索